

## 令和3年度 県政モニター(テーマ通信)「食育の推進について」アンケート結果

1 調査目的 食育に関する意識・実態を把握し、施策に反映するため。

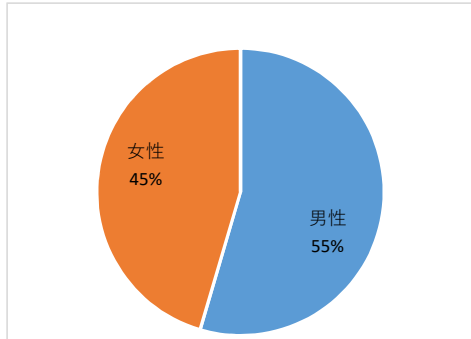
2 回答者数 66名/114名(回答率57.9%)

3 集計結果

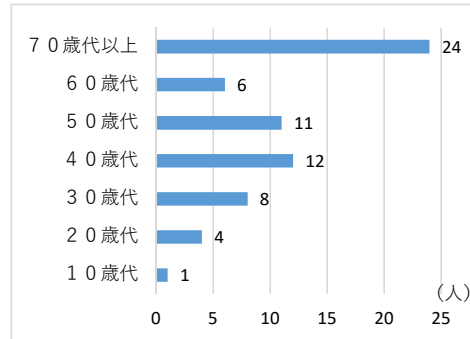
I はじめに

問1 あなたのことについておたずねします。

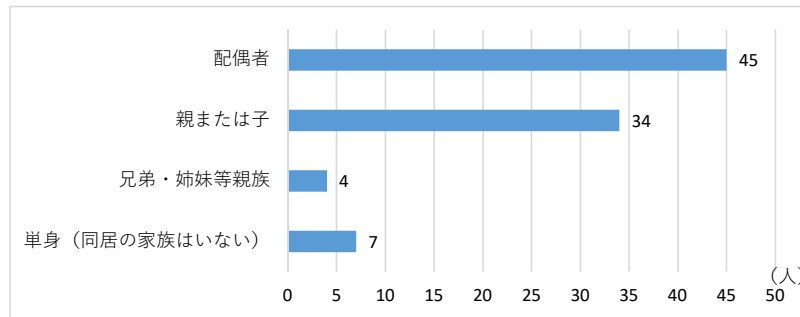
(1)あなたの性別を教えてください



(2)あなたの年齢を教えてください。

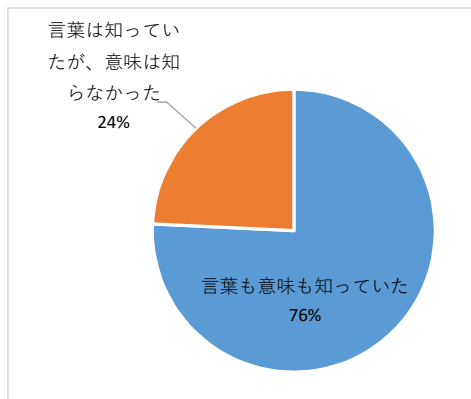


(3)あなたの同居家族を教えてください。

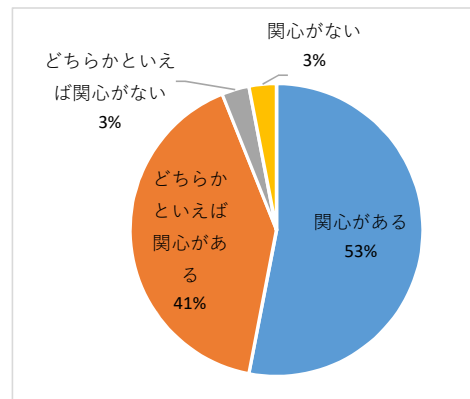


II 食育に関する意識・取組について

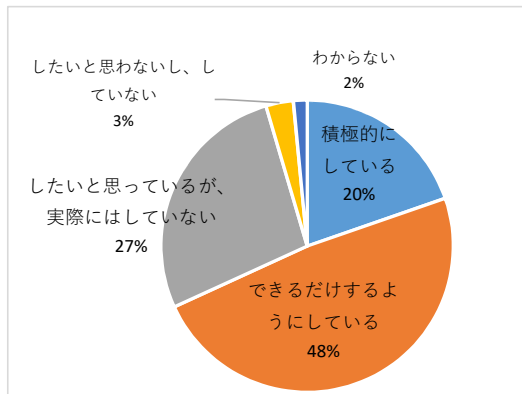
問2-1 「食育」という言葉やその意味を知っていますか。



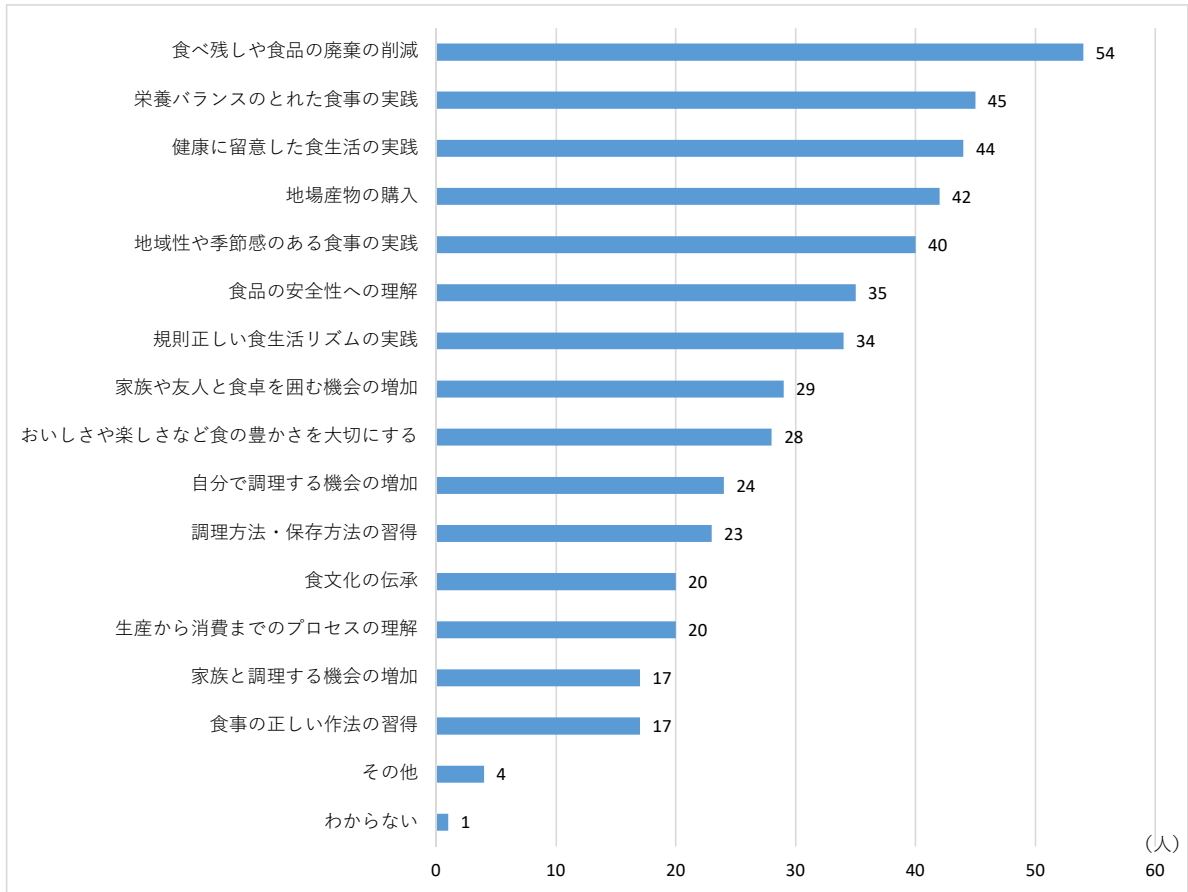
問2-2 「食育」に関心がありますか。



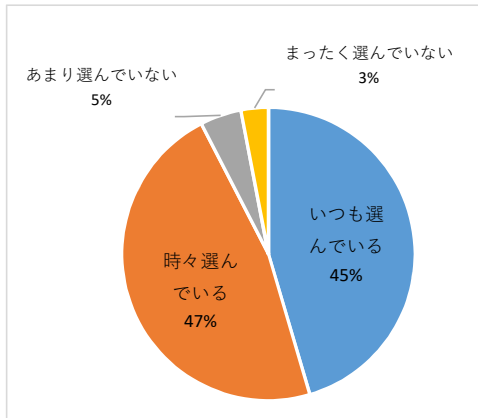
問2-3 あなたは日頃から「食育」をどのような形で実践していますか。



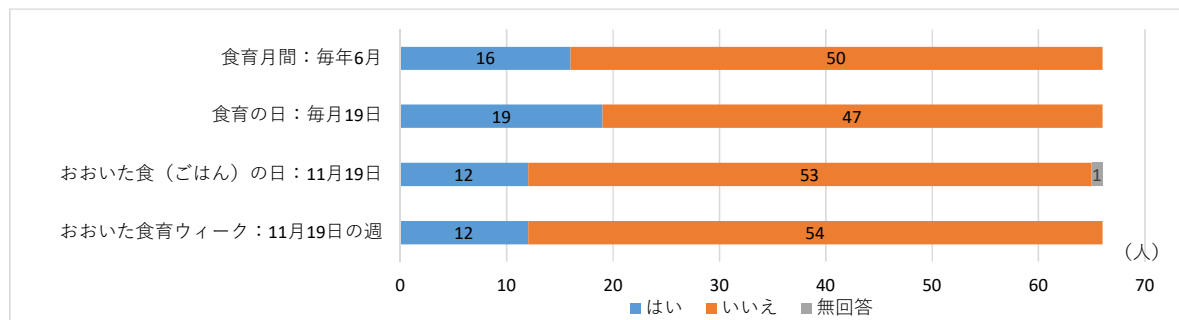
問2-4 ふだんの食生活の中で、今後食育として、特にどのようなことに力を入れたいと思いますか。



問3 食品を購入する際に産地や生産者を意識して農林水産物を選んでいきますか。

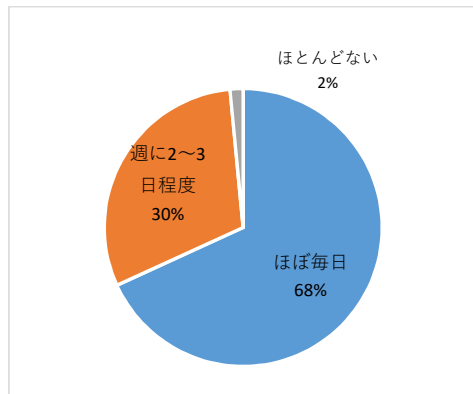


問4 次の食育啓発期間を知っていますか。

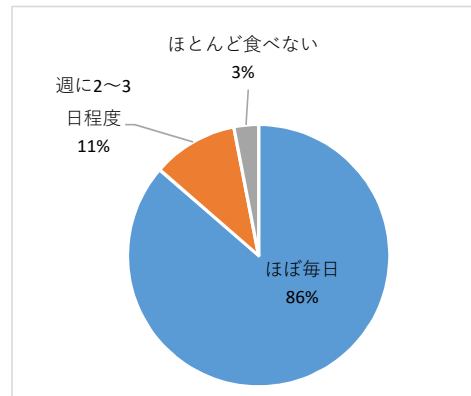


### Ⅲ 現在の食生活・生活習慣について

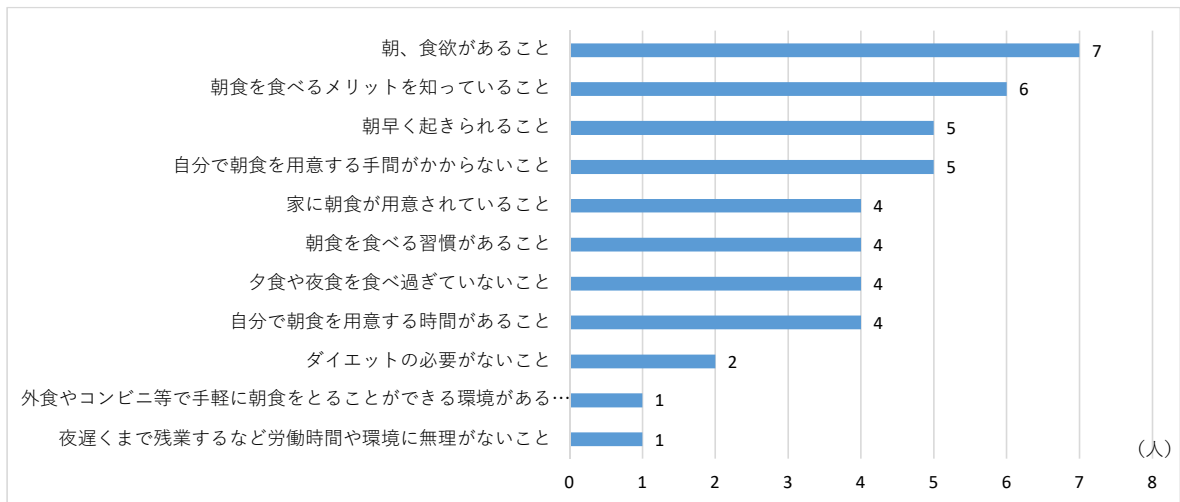
問5 主食・主菜・副菜をそろえて食べるのが1日に2回以上あるのは週に何日ありますか。



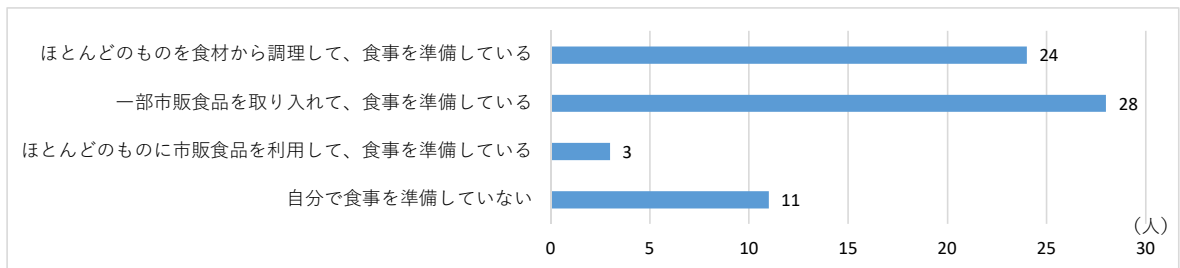
問5-1 ふだん朝食を食べていますか。



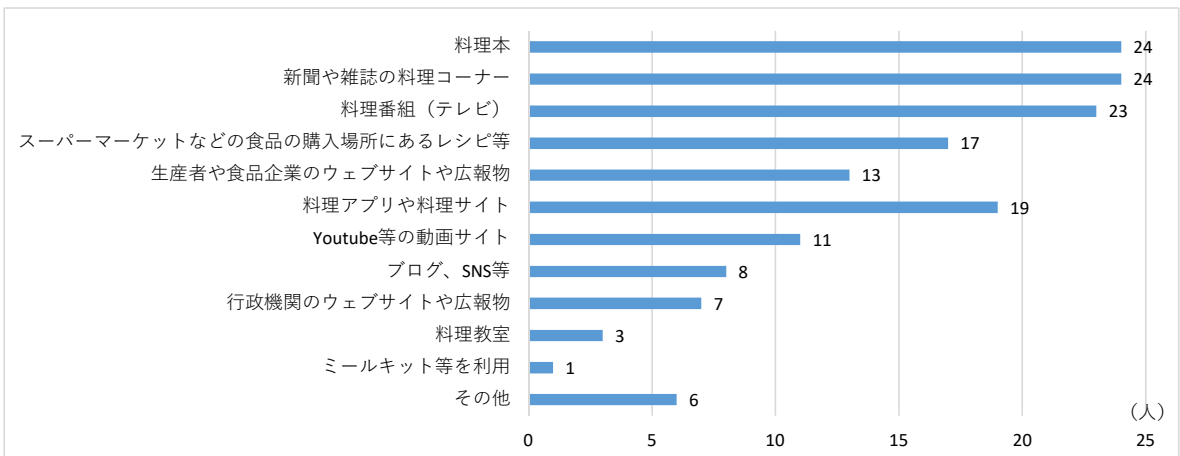
問5-2 あなたが朝食を食べるためには、どのようなことが必要だと思いますか。



問6-1 普段の食事を自分で準備していますか。

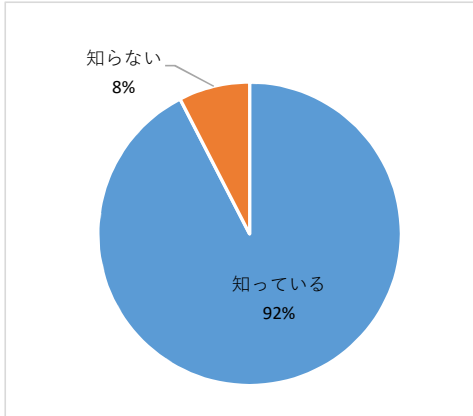


問6-2 食事を準備する際に献立の参考にしているものは何ですか。



#### IV 食文化について

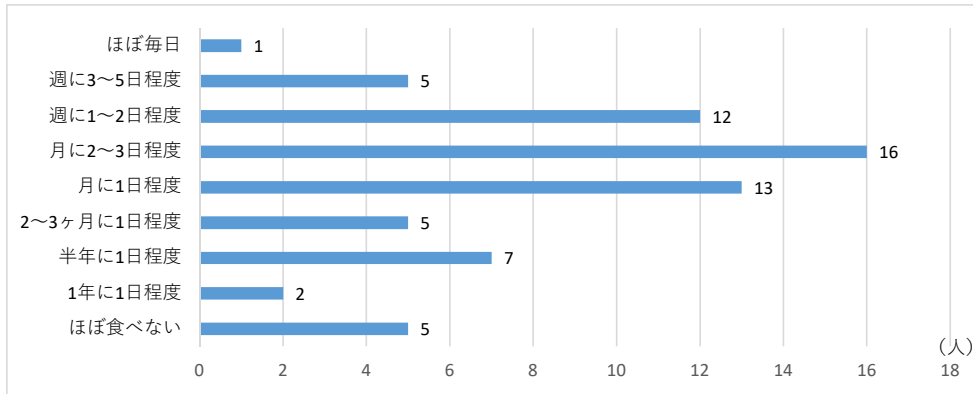
問7-1 大分県の郷土料理を知っていますか。



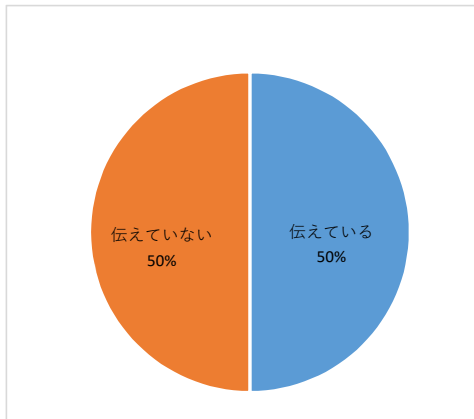
知っている郷土料理

料理名	人数
だんご汁	48
やせうま	30
とり天	20
りゅうきゅう	19
鶏めし	11
ごまだしうどん	8
からあげ	8
黄飯(とかやく)	5
きらすめし	5
石垣もち	4
ひゅうが丼	3
がん汁	3
こねり	3

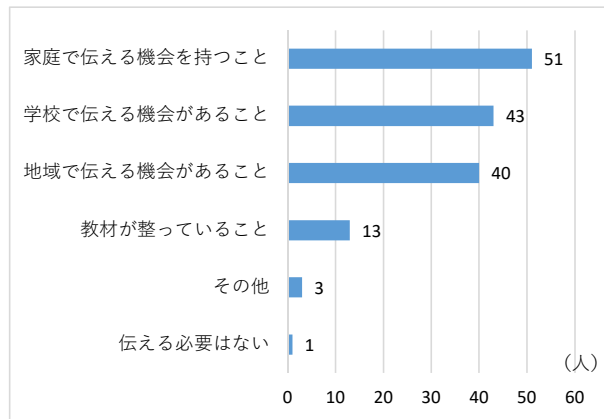
問7-2 大分県の郷土料理や伝統料理をどのくらいの頻度で食べていますか。



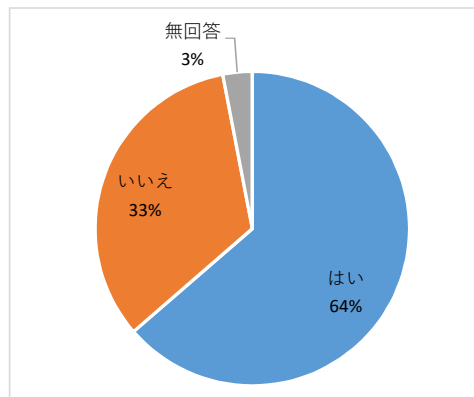
問7-3 大分県の郷土料理や伝統料理について地域や次世代に対し、伝えていますか。



問7-4 郷土料理や伝統料理について伝えていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。



問7-5 あなたの地域にある郷土料理で、次世代に残したい、作り方を知りたい郷土料理がありますか。



残したい郷土料理

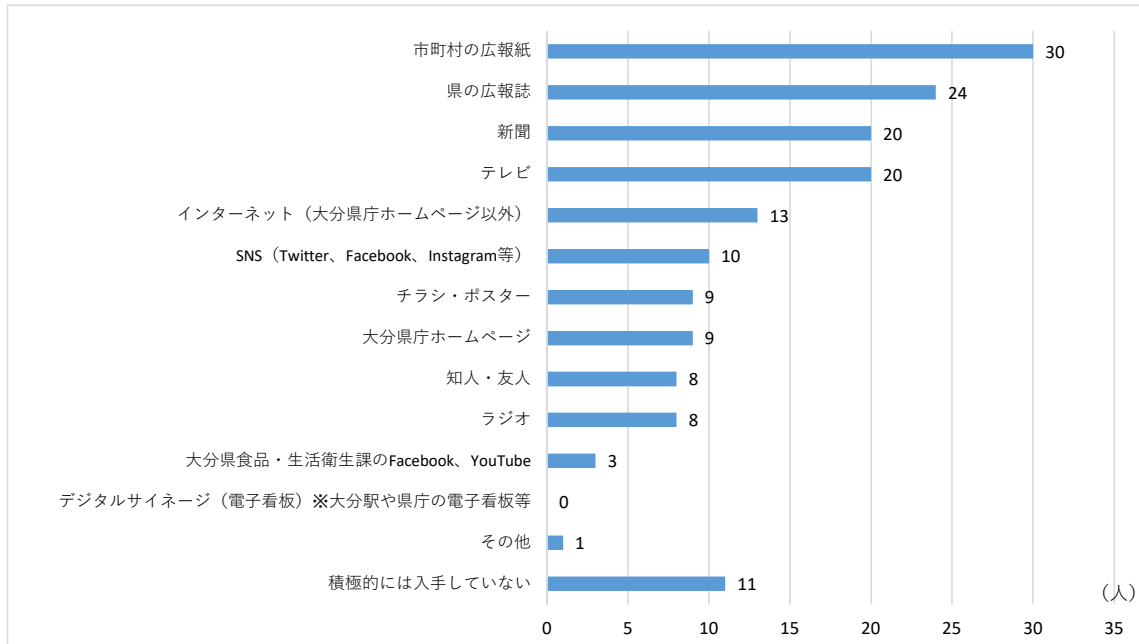
料理名	人数
だんご汁	18
きらすめし	3
ごまだしうどん	3
からあげ	3
りゅうきゅう	2

主な理由

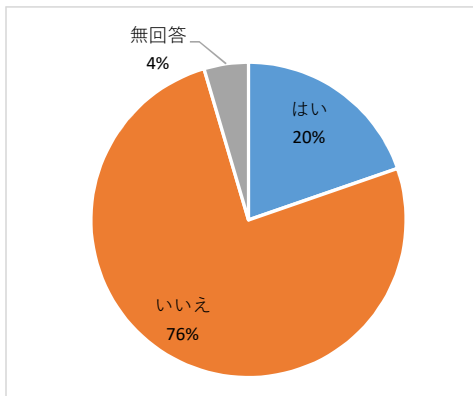
美味しいから。
多くの食材を使用し、栄養価が高いから。
親や祖父母、近所の人等を作ってもらったから。
作ったことがない／作り方を知らない から。
手軽にできるから。
地域で作り方が違うから。

V 食育に関する情報や県の施策について

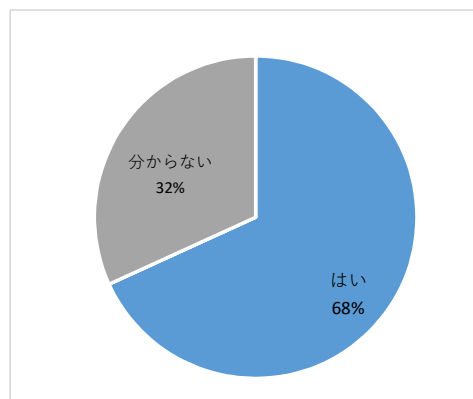
問8 食育に関する情報をどのような方法で入手していますか。



問9-1 あなたは「おおいた食育人材バンク」の取組を知っていましたか。



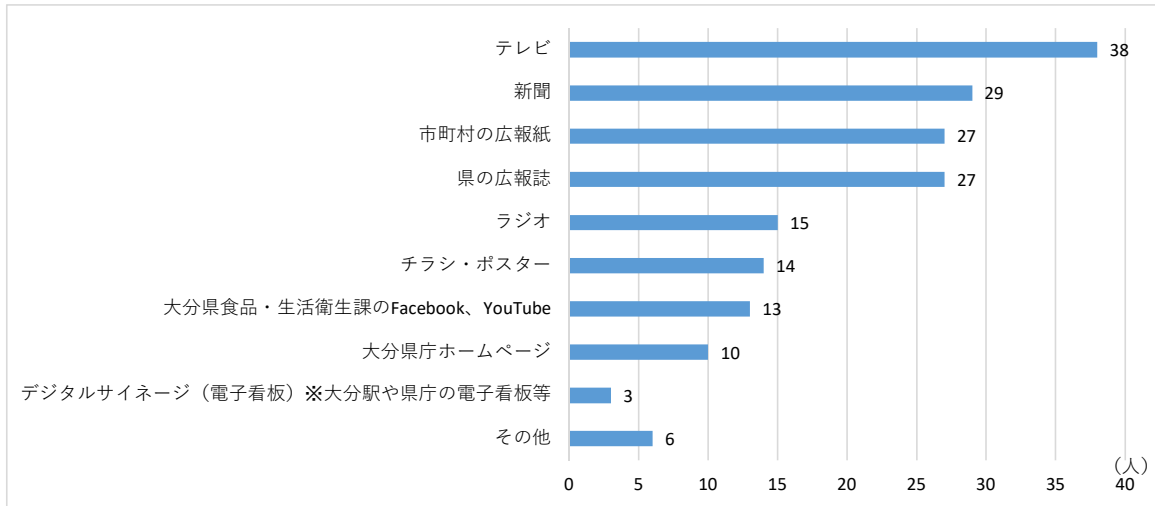
問9-2 今後も地域での食育活動を活性化させるために、実践者の派遣の継続は必要だと思いますか。



必要だと思う理由(主な意見)

食育活動を広げていくことが重要だから。
継続していくことが重要だから。
家族形態やライフスタイルの変化から家庭での伝承が難しくなっているため。
少しでも食育の機会を提供することが重要だから。
食の専門家の知識や意見を参考にしたいから。
情報が多様化する中で、人から人へ伝えていくことが大事だと思うから。
過去に食育活動を体験したおかげで食の大切さを学ぶことができ、今もそこで得た知識を生かして自炊を楽しむことができているから。

問9-3 「おおいた食育人材バンク」を県民の皆様知ってもらうためにどのような周知方法が有効だと思いますか。



問10 今後、行政は食育に関してどのような取組を強化すべきだと思いますか。

